

小学校における英語教育は必要か

教育班：

小学校での英語教育導入に関する論点

- ① 幼い頃から英語に慣れ親しんでおけば、中学校での英語の授業も理解しやすくなるのではないか。

- ② 日本人はよく「中学、高校と6年間も英語を学んでいるのに、英語を話すことができない。(実用的な英語が身につかない)」と言われる。小学校からの英語導入は、その打開策となるのでは。

- ③ 各小学校で英語学習の形態(教員、教材、年間授業時間数、授業の内容)、英語学習の目的が異なり、多数の小学校から一つの中学校に入学したときに、生徒の英語能力にばらつきが生じるのではないか。

- ④ 現状では英語を教えるのは学級担任が多く、その学級担任が、英語を不得意とする場合、逆に子供たちの英語嫌いが進むのでは。

- ⑤ 小学校という日本語の発達段階の時期に、英語を勉強することは、日本語習得の妨げとなり、会話で日本語と英語が混ざるなどして、きれいな日本語を話せない子供が急増するのでは。